

## 防音室 2 ご利用マニュアル

室内の物品について、使用した物、移動させた物は元の場所に戻してください。  
万が一、使い方を誤って破損した場合、弁償していただく場合がありますので、ご注意ください。

以下のリストに無い物、数の足りない物は使用者様でご準備ください。  
モニタースピーカーは備え付けがありますが、アンプ内蔵型で使い方が特殊です。持ち込みをお勧めします。  
ヘッドフォンは備え付けがありますが、イヤークッションに経年劣化でひび割れが出ています。気になる場合、持ち込みをお勧めします。

### 機材紹介

- 調整室内



  - モニター用スピーカー (adam P11A アンプ内蔵型、結線済)

- 調整室奥側デスク左側扉内

品名	数量	外観
XLR メス - フォーン TS ケーブル	2	
XLR メス - RCA ケーブル	2	
XLR オス - バンタム ケーブル	2	

XLR オス - メス ケーブル	2	
XLR オス - オス 変換コネクタ	4	
ステレオミニプラグ - ステレオフィオン 変換コネクタ	1	
ステレオフィオン ・ ステレオフィオン二股	1	

・録音ブース入り口棚

品名	数量	外観
マイク NT2 (写真左) マイク U-87 (写真右)	各 2	
XLR オス・メス ケーブル ヘッドフォン	各 2	

以下、ご準備いただく物の一例です。

・録音機材

ポータブルレコーダー、ハンディレコーダーあるいは  
パソコン + オーディオインターフェイス (PC 用モニター、キーボード、マウスなど周辺機器含む)

・電源タップ

1) 録音ブースのみ使用の場合

電源コンセントは入り口脇にあります。

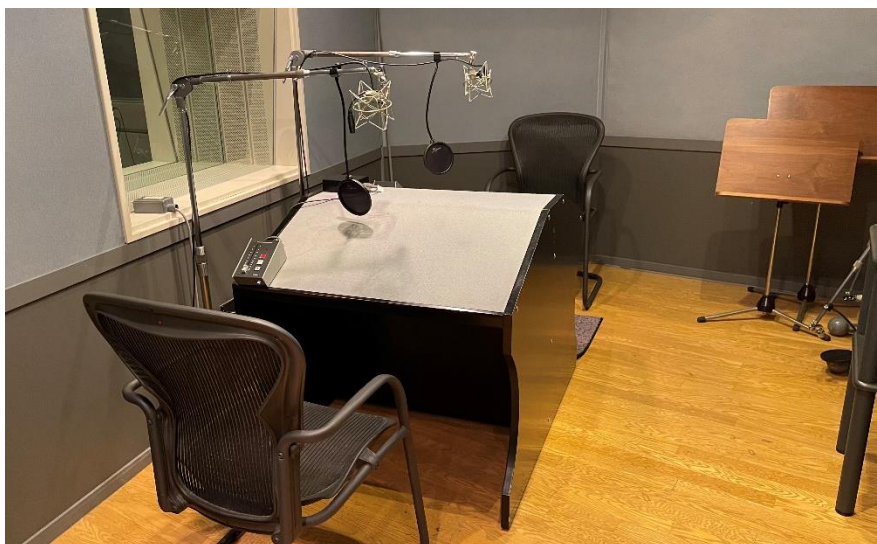
備品のマイクはいずれもコンデンサーマイクです。+48V / ファンタム電源が必要です。

マイクスタンドには XLR オス・メス ケーブルが付いています。録音機材のインプットコネクタ形状に合わせて変換ケーブル / コネクタが必要な場合、上のリストにある物をご自由にお使いください。調整室奥側デスク左側扉内にあります。

## 2) 調整室 + 録音ブース使用の場合

### 2-1) 録音ブースについて

マイクスタンドには XLR オス・メス ケーブルが付いています。入り口側が MIC1、奥側が MIC2 です。



デスク上に調整室からの返しを聴くためのヘッドホンボックスがあります。ボックス手前にヘッドホン用フォン端子があります。隣のつまみがボリュームです。他のボタンやフェーダーは使いません。



## 2-2) 調整室について

### 注意事項

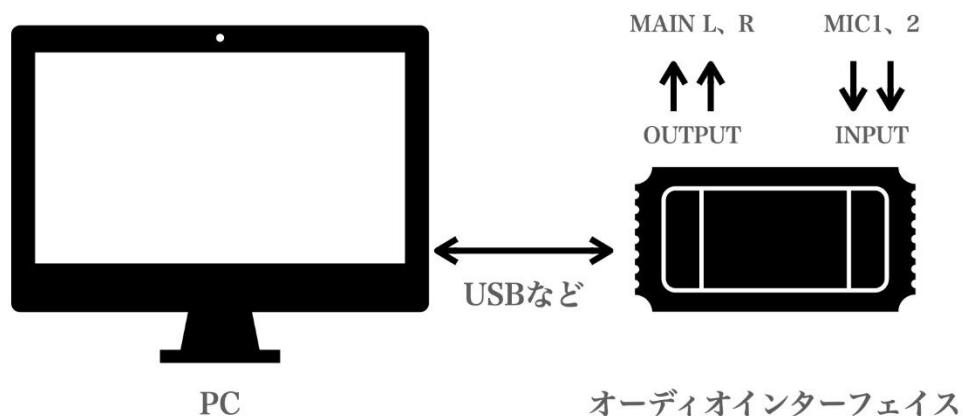
机にあるスピーカー用電源は機器の接続、電源投入を終えてから入れてください。  
作業が終わったら機器を外す前にスピーカー用電源を切ってください。



設置されているスピーカーはアンプ内蔵型です。いきなり大きな音を出すとスピーカーが破損することがあります。最初に音を出す前に持ち込み機材のメインボリュームを一度絞ってから音量調整を行ってください。

万が一、使い方を誤って破損した場合は、弁償していただく場合がありますのでご注意ください。

## 接続例



MIC1、2はXLR - フォーン TS、MAIN L、RはXLR オス - メスのケーブルがつながっています。使用される機器に合わせて変換ケーブルやコネクタをご利用ください。奥側デスク左側扉内にあります。

持ち込みのスピーカーを接続する場合、設置してあるスピーカーに接続されているケーブルをご利用ください。なお、使用が終わったのちは、元の通りに結線をお願いします。





## 録音ブースとのコミュニケーション

トークバックボックスが室内奥側デスクの手元と室内中央デスクの上にあります。  
調整室と録音ブースの間でコミュニケーションを取る時に使います。



ボックスの白いボタン「TB」を押している間、録音ブースのヘッドホンボックスに調整室内の会話が返ります。

ボックスの赤いボタン「CUE」を押している間、録音ブースの CUE ランプが点灯します。

## トラブルシューティング

- ・調整室のスピーカーから音が出ない。

持ち込み機材との接続を確認する。**(ケーブルの抜き差しをする時は、スピーカー用の電源を切ってから行ってください)**

スピーカー用の電源が入っているか確認する。

室内奥側デスク手元のトークバックボックスの「mini SP」ランプが点灯していることを確認する。

## ヘッドホンボックスに音がない

- ・ヘッドホンボックスのボリュームが上がっているか確認する。
- ・中央デスクにある「AF-201」の電源ランプが点灯しているか確認する。







キューボックスのフェーダー「MASTER」を一番上まで上げる。  
ヘッドフォン用のボリュームを適当な位置まで上げ、「ST」フェーダーと単独の  
音声を送ったフェーダーを上げ、バランスを取る。



注)

- ・音が出ない場合はヘッドフォンボックスをご確認ください。上面に3つ並んだボタンのうち、一番下のボタンに緑色のランプが点灯していると、キューボックスから音が出ません。ヘッドフォンボックスは2台あります。
- ・機材が老朽化しているため無音時には微量のホワイトノイズが発生します。